

ツクイの送迎車を中古車リース

ツクイキャピタル

リース事業を展開するツクイキャピタル株式会社(野田)は、福祉車両のリースを開始した。

新サービス「福祉車両中古車リース」は、ワンボックス型で、4WDを標準とする。例えXO(スローノーマル)では車いすが1台、2人乗車ができる。月額3万2000円(非課税)。平均走行距離は4万キロから5万キロ。ドライブレコーダーと自動ブレーキも標準装備。

リースの料金は、税金、自賠責保険、車検



除圧機能装備。車検の整備が済むも含む。海法からの届出も別途1カ月程度。新年度の新たな事業展開に際して、問い合わせは03・6606・6667まで。

6角スリットで除圧介座用マットレス イソックリベンジ 介座用品「すねれ」の展開 販売先がけのエリア 神奈川株式会社)は、福祉車両「すねれ」を月間販売した。クッション(全長100cm)形のスリットが施され、従来品に比べて、優れた除圧機能を発揮。車検の



東京ケアウィーク '23 閉幕

異業種からも出展あり多彩

フテックス(港区)が主催する「東京ケアウィーク'23」が、3月22日(土)から、東京ビッグサイトにて会期を終え、成功裡に閉幕した。

エフワイブ(三木町)は、高岡本州社長(左)は、4月発売予定の「エフワイブ」監製「介護用マットレス」を出展。会場は、



異なる種類のクッションを組み合わせているので、過度な沈み込みを防ぎ、仰臥位では程よく全身を支え、側臥位では肩と腰への圧力を吸収する。マットレスのカバーには抗菌と湯水加工が施されている。

オープン価格。問い合わせは、同社を古河営業所03・3106・8087まで。



千瀬型「のん」見守りシステム(和歌山) 吉井剛社(香取)は、次世代千瀬型見守りシステム「News+Care」(ネオスクエア)を千瀬型見守りシステム「のん」の4月内に販売を開始する。

本製品は、千瀬型見守りシステム「のん」の機能を補った。介護施設、在宅介護、高齢者施設などに導入可能。センサーが「転倒」「すり落ち」といった危険な動作を検知し、スマートフォンなどで通知する。



「千瀬型」の見守りシステムだ。これにより、転倒前に防犯警報を発生させ、防犯カメラ、夜勤時の防犯時間短縮も期待できる。

この度のモデルチェンジでは、音響による通知通知がオプションから標準搭載へと変わり、本体のサイズが35%コンパクトになった。

問い合わせは03・4000・3000まで。



「千瀬型」の見守りシステム(和歌山) 吉井剛社(香取)は、次世代千瀬型見守りシステム「News+Care」(ネオスクエア)を千瀬型見守りシステム「のん」の4月内に販売を開始する。

本製品は、千瀬型見守りシステム「のん」の機能を補った。介護施設、在宅介護、高齢者施設などに導入可能。センサーが「転倒」「すり落ち」といった危険な動作を検知し、スマートフォンなどで通知する。



「千瀬型」の見守りシステム(和歌山) 吉井剛社(香取)は、次世代千瀬型見守りシステム「News+Care」(ネオスクエア)を千瀬型見守りシステム「のん」の4月内に販売を開始する。